第4回「３４歩く会」新緑の玉川上水を巡る

（東大和市駅から小金井公園へ、小平グリーンロード(南側)）

撮影；川鍋正義、編集；川鍋正義、岡田正嗣、印刷；伊澤克夫）

小平グリーンロードは、玉川上水、野火止用水および水道道路の 3 つの水の道を結んで小平を一周する(約２１ｋｍ)ウオーキングコースです。今回はその南側のコースを歩きます。

東大和市駅から玉川上水駅の手前まで行き、そこから新緑の玉川上水を歩き、途中でゴミ焼却場の廃熱を利用した足湯に浸かります。鷹の台駅近くの、国内でも珍しい施設である「ふれあい下水道館」に寄り、館内を見学します。そこから少し戻り、中央公園で昼食の後、「平櫛田中館」で木彫作品などを見学します。小金井公園では「江戸東京たてもの園」を見学し、花小金井駅まで歩き、そこから西武線で東大和市駅に戻ります。

集合；東大和市駅　　１０時
歩行距離；約１２ｋｍ
コース；

東大和市駅(ト)――――上水小橋（玉川上水駅手前）――足湯(ト)――小川橋――鷹の台駅―
10:00　　10:10　　10:20　10:30　　11:00

―ふれあい下水道館(ト)――小平市中央公園（ト、昼食）――平櫛田中館(ト)――喜平橋――
11:10　11:30　　11:40　12:15　　12:30　13:00

小金井公園（江戸東京たてもの園、ト）――花小金井駅＝＝（西武線）＝＝東大和市駅
14:00　　15:00　　15:30　　16:00

第4回　34歩く会　　平成22年5月14日

玉川上水を小金井公園へ

小金井公園

小金井公園

３４歩く会

「玉川上水を歩く」;歩行記

2010.05.15　川鍋正義

２０１０年５月１５日（土)、５月の連休から１週間後、昨日まではぐずぐずして寒かったが、今朝は正に五月晴れの快晴で、爽やかで、木々の若葉も光り輝いている。
前回２月の雪の中のウオーキングと比べ、今日は暑くなりそうだ。
そんな中、９時半過ぎに、東大和市駅に元気な仲間が次々に集まる。　２１名が集合した。小田原からは大貫さんが、中野からは尾又さんが、八王子からは山崎さんが参加して下さった。
参加受付の後、１０時に、大貫さんの指導でストレッチ体操をやり、いざ出発。

東大和駅から玉川上水駅までは野火止用水沿いの道を歩く。整備された広い遊歩道だ。若葉を芽吹かせた大きな木々の間の木陰を進む。右側には西武線が走っている。爽やかな薫風の吹き抜ける真っ直ぐな遊歩道を快適に進む。
やがて、玉川上水と合流したところが上水小橋だ。ここからは玉川上水の川底に降りられる。川底に立つと鬱蒼とした林の中を清水が流れ、白く光る上水が真っ直ぐに伸びており、鳥たちの鳴き声が聞こえる。そのすぐ上流には滝があり、涼しげな清水が岩の間を流れ落ちている。
この上水小橋を渡り、玉川上水の南側の遊歩道を歩く。川沿いの道は大きな木々の間にあり、根っこなども出ている道だが、土の上を歩ける楽しさがある。何といっても土の感触が何とも言えない。適当な弾力があり、足にも優しく、疲れない。
途中、玉川上水の流れを覗くと、ゆったりと流れる綺麗な水の中を大きな鯉が何匹も泳いでいる。その向こう岸側には「足湯」の施設があるが、今は休止中のようだ。

小川橋を渡り(10:45)、今度は玉川上水の北側を進む。歩きやすい土の道が真っ直ぐに続く。北側には畑が広がり、ジャガイモや菜っ葉類が生き生きと育っている。
途中には、畑に続く農家の庭先を利用したうどん屋もある。
玉川上水沿いの遊歩道は、ずーと日陰の中で、時々木漏れ日が差し込んでくる。　バラや菜の花も色を添えて、快適なウオーキングだ。　若葉は緑や黄色の色が多彩で、濃淡も様々だ。こんな若葉の中を吹き抜けてくるそよ風にほほを撫でられながら歩を進める。

上水沿いの朝鮮大学では体育会の練習が行われており、賑やかだ。創価学校の近くの上水公園へ出る。　ここまで休憩も取らずに快適なペースで歩いてきたが、汗もかかず，疲れも感じない。湿度が低く、五月晴れの爽やかなお天気と、木陰の遊歩道のおかげだろう。

やがて西武国分寺線の踏切に到着(1125)。ここは鷹の台駅の南側だ。ここで途中参加の田宮さんを加え、踏切を渡ると、小平市中央公園だ。
ここには野球場や体育館などがある広大な公園で、木陰が広がる。体育館には、かってのバレーボールの女王であった日立武蔵の資料や優勝カップなどが展示されている。
ここで、トイレ休憩、１１時半だ。歩き続けで、お腹も空いてきたのでそろそろ昼食にしたいが、小金井公園まで歩いてゆっくり食事にしたいとの意見も出た。しかし、小金井公園まではまだ５ｋｍもあり、１時間はかかりそうだ。　そこで、近くの「ふれあい下水道館」に行き、

そこで昼食をさせていただくことにする。

受付で入館手続きをして、昼食をさせていただけるようにお願いした(11:30)。

「ふれあい下水道館」は、地上２階、地下５階だ。係員にまず地下５階に案内され、説明を受けた。地下５階には直径５メートルほどの下水道本管が通っており、その下水道本管の中に入れる。本管内には白く濁った下水がゆっくりと流れており、風呂の排水のような臭いがする。今は水量が少ないが、台風などの時は本管の上の方まで水位が上がるそうだ。この本管は、東大和市の境から小平市内の下水を集め、府中を通って下水処理場に集められ、処理後に玉川に放流されるそうだ。（東大和市の下水は埼玉県側に集められ、下水処理後に荒川に放流されている）　地下５階から４，３，２階へと下水に関する展示資料を見学し、地上２階の休憩室で昼食となった。１２時前から１２時４０分まで、ゆっくりお弁当を食べ、ダベリングをして、まるで遠足に来たようだ。

「ふれあい下水道館」から小金井公園までは、５ｋｍの遊歩道を一気に歩く。小金井公園の西側の休憩所に到着(13:45)し、小休止の後、「東京江戸たてもの園」に行き入場する(14:00)。入場料は通常４００円だが、６５歳以上は２００円、更に２０名以上の団体は２割引で、１６０円で入場できた。　入口で中村さんと合流。

「東京江戸たてもの園」に入ると、明治から大正時代の民家が数棟並んでいるが、高橋是清の邸宅の一部を移設した木造２階建ての豪邸に入った。ボランティアガイドの説明を聞き、総檜造りの建物で、ガラス戸の上に伸びる真っ直ぐな１５ｍ程の檜の丸桁には驚いた。よくもまあこんな素晴らしい檜を見つけたものだ。

また、その下のガラス戸には大正時代に作られたガラスが入っており、そのガラスは当時の製造技術による独特の波を打っており、外の景色が揺らいで見える。

ここを出て、大正，昭和初期の街並に行くと、ここでもボランティアガイドの説明があった。狭い間口の店舗を有効に使用するために店の中に地下倉庫への入り口がある三省堂や、着物の柄をあしらった外壁の店や焼夷弾に被弾した跡を残した銅板囲いの店や居酒屋などがある。

「千と千尋の・・・」のモデルになったような銭湯もあり、風呂の壁には富士山が描かれている。「東京江戸たてもの園」では懐かしい雰囲気を十分に味わった。

「東京江戸たてもの園」の前で一時解散(15:00)。

ここからは小金井公園を東端まで歩き、狭山・境緑道(水道道路)に出る。「王様の湯」に行く原さんと別れ、水道道路の桜並木の下を花小金井駅まで歩く(16:00)。花小金井駅からは西武線で東大和駅まで行き、二時会場の「加賀」まで歩く。

「加賀」には、紅一点の尾又さんも参加され、無事に到着(16:30)。これまで本日の歩数は約26000歩であった。全員完歩を祝して乾杯―イ！　冷たいビールのなんと旨いこと！

テーブルには、芋窪の農家から仕入れたというタケノコを使った煮物や野菜の料理が盛りだくさんに並ぶ。談笑は尽きないが、19時半過ぎに、次回の再会を約束してお開き。

次回のウオーキングは、10月16日(土)、10時に西武線の武蔵大和駅に集合し、宮崎駿夫監督の「トトロ」のモデルになった「トトロ２号地」や八国山を巡るコースを予定している。

３４歩く会　　2010年５月１５日（土）歩行記　会長川鍋正義　事務局伊澤克夫

第４回「３４歩く会」のご案内

新緑の玉川上水を巡る

（東大和駅から小金井公園へ、小平グリーンロード（南側）

前回の第3回、2月13日の「狭山緑地」は小雪舞なか１７名の参加でおこなわれました、雪の神秘的な楽しい「あるく会」でした

●日時2010年5月15［土］集合；9：45東大和市駅：

水と昼食を持参ください、地図等は当日配布（参加費200円）

●コース：東大和市駅10時発―足湯―小川橋―鷹の台駅―ふれあい下水館――小平市中央公園（昼食）―平櫛田中館―喜平橋―小金井公園（江戸東京たてもの館）―花小金井駅（西武線）―東大和市駅（雨天決行コース変更有り）

●「懇談会」；歩く会終了後南街の「加賀」（042-566-2718）で開催します。（懇談会のみの参加もＯＫ）PM５：００から・

● ４月12日（土）御前山（かたくりの花）

ハイキング参加希望者は伊澤までご連絡ください。042-563-8795

３４歩く会・34年会同期会　役員一同

新緑の玉川上水を巡る

（東大和市駅から小金井公園へ、小平グリーンロード(南側)）

小平グリーンロードは、玉川上水、野火止用水および水道道路の 3 つの水の道を結んで小平を一周する(約２１ｋｍ)ウオーキングコースです。今回はその南側のコースを歩きます。

東大和市駅から玉川上水駅の手前まで行き、そこから新緑の玉川上水を歩き、途中でゴミ焼却場の廃熱を利用した足湯に浸かります。鷹の台駅近くの、国内でも珍しい施設である「ふれあい下水道館」に寄り、館内を見学します。そこから少し戻り、中央公園で昼食の後、「平櫛田中館」で木彫作品などを見学します。小金井公園では「江戸東京たてもの園」を見学し、花小金井駅まで歩き、そこから西武線で東大和市駅に戻ります。

集合；東大和市駅　　１０時
歩行距離；約１２ｋｍ
コース；

東大和市駅(ト)――上水小橋（玉川上水駅手前）――足湯(ト)――小川橋――鷹の台駅―
10:00　10:10　10:20　10:30　11:00

―ふれあい下水道館(ト)――小平市中央公園（ト、昼食）――平櫛田中館(ト)――喜平橋――
11:10　11:30　11:40　12:15　12:30　13:00

小金井公園（江戸東京たてもの園、ト）――花小金井駅＝＝（西武線）＝＝東大和市駅
14:00　15:00　15:30　16:00

注）(ト)はトイレです

＊ 小平市中央公園の到着が早い場合や、途中寄り道したくない場合は、小金井公園まで歩き、小金井公園で昼食にしてもよい。
＊ その際には、「ふれあい下水道館」や「平櫛田中館」の見学はカットしても良い。
＊ 延長コースとして、花小金井から水道道路を小平駅、八坂駅まで歩き、さらに野火止用水を東大和市駅まで歩くことができるが、これは次回以降のコース案としたい。

＊ 「ふれあい下水道館」；地下５階までの館内に展示された下水道の仕組みや歴史について見学し、地下 25mを走る巨大な下水道管の中を体験します。係員の館内案内も可能です。(無料)
＊ 「平櫛田中館」；日本近代木彫界の巨匠といわれる彫刻家である平櫛田中(文化勲章受章)の終焉の館で、庭園や美術館では貴重な木彫作品が鑑賞できます。(20 人以上の団体 220 円)
＊ 「江戸東京たてもの園」；茅葺き民家や下町の雰囲気を感じさせる商店があり、かっての暮らしぶりを再現する展示も行っている。(入園料 400 円、65 歳以上 200 円)

第４回 34 あるく会　　会長　川鍋正義　　事務局　伊澤克夫」
日時　　2010 年５月１５日（土）集合　東大和市 AM10 時